

広野町教育ビジョン

魅力ある広野町の教育の実現に向けて

<基本方針>

子どもたちの輝く笑顔が広野町の未来
～子どもたちがのびのびと育ち、笑顔が輝く広野町をめざして～

<広野町教育目標>

○夢や希望を抱き未来をたくましく生き抜く幅広い見識と創造性の育成（キャリア教育）

- ・確かな学力と自ら学ぶ意欲や態度を育みます（知）
- ・人への思いやりの心とふるさとへの愛着を育みます（徳）
- ・生涯にわたり健康で安全に生活する力を育みます（体）



【広野町中学生海外教育交流派遣事業 H.27.8.20~H.27.8.27】

広野町教育ビジョンに基づいた広野町の教育の魅力化

広野町では、現在、広野中学校が、広野中学校本校舎の施設を使用した「ふたば未来学園高等学校」開校により、広野小学校北校舎で教育活動を展開していること、広野小・中学校が「学力向上のための『つなぐ教育』推進事業」の研究校の指定を受け、「小・中連携」「家庭・地域社会との連携」の実践研究を行っていることから、その成果を柱に、将来的な幼・小・中一貫教育を視野に入れながら、広野町教育委員会の基本方針を定めるとともに、広野町教育ビジョンを策定し、「魅力ある広野町の教育」の創造に向けた、教育実践をすすめています。

広野町教育委員会



平成27年度これまでの取組

確かな学力と自ら学ぶ意欲や態度を育みます（知）

◇小・中連携（小学校・中学校）

小学校、中学校の教員が、互いの授業を参観し合い、小・中のスムーズな接続に向けた授業の在り方についての研究に取り組んでいます。さらに、2学期からは、広野町教育委員会の命課を受けた中学校の教員が小学校の授業にも参加します。教科の専門性を生かした授業により、児童の学習への興味・関心を引き出します。（教員派遣交流事業）



【中学校社会科での研究授業】



【小・中教員による授業後の研究協議】



【中学校教員の小学校での授業（音楽）】

◇英語教育（幼稚園・小学校・中学校）

国際社会に対応できる人材を育成するため、幼稚園、小学校中低学年においても英語教育を実施しています。英語を身近なものとするため、ALT〈外国語指導助手〉が、中学校だけでなく幼稚園、小学校でも英語教育の補助を行っています。（英語教育の強化・ALTの活用）さらに、中学校では、毎月1回程度、ふたば未来学園高等学校との英語の連携授業を実施しています。コミュニケーション能力の向上をめざし、これまでに学習した内容を用いたコミュニケーション活動を実践しています。（ふたば未来学園との連携）



【幼稚園での英語あそび】



【小学校での外国語活動】



【中学校での英語の授業】

◇学力向上の取組（小学校・中学校）

小学校では、毎週水曜日と金曜日の朝10分間、学力補充のためのドリル学習「ぐんぐんタイム」に取り組んでいます。また、火曜日と木曜日の朝の10分間は読書習慣の確立に向け、読書タイムを設定しています。中学校では、学力向上をめざし、朝15分間、放課後15分間の1日計30分間を学力の補充や発展的な学習の時間「広蛸タイム」に充てています。月曜日～木曜日は、漢字・数学・英語検定試験に臨むための学習や、理科、社会の基礎基本の習得をめざし問題集を活用した学習を、金曜日には、読書活動に取り組んでいます。（読書活動の励行・各種検定取得支援）



【広蛸タイムでの学習の様子】

◇児童生徒への学習支援（小学校・中学校）

首都圏の大学生を講師として招聘し、毎月2日間、長期休業中は3日間、中学生の希望者を対象とした基礎学力向上から高校受験を見据えてのメンタル面を含めた学習支援を行っています。（町営学習塾事業）

また、小学生に対しては、コーディネーター、指導員を配置し、4年生～6年生の希望者を対象に、授業終了からスクールバス乗車までの時間を利用して、毎週火・水・木曜日に学習活動や体験活動を支援しています。（放課後支援事業）



【町営学習塾での中学生の学習】



【ひろの元気教室での小学生の活動】

◇広野町中学生海外教育交流派遣事業（中学校）

海外でのホームステイ、現地での学校訪問や同世代の人たちとの交流等、海外での様々な交流活動に参加することをおし、「国際的な視野と見識」を深めるとともに、積極的に物事に取り組みやり抜く「たくましく生き抜く力」を身につけることを目的に、中学2・3年生20名が、8月20日～8月27日の8日間、カナダのブリティッシュコロンビア州バーノン市において、現地での語学研修やアクティビティー、生徒との交流、4日間のホームステイ等を体験しました。（国際交流事業）



【出発式】



【語学研修】



【YOSAKOIソーラン披露】



【アクティビティー】



【ホストファミリーと対面】



【現地日系企業訪問】

◇職業人講話（中学校）

進路指導の一環として、生徒一人ひとりの職業観や勤労観を育てるとともに、地域の現状や社会的事象についての理解を深め、将来の進路に対する関心を高めることを目的に、地域の職業人や著名人による講話を実施しています。（キャリア教育の充実）



【町役場職員による講話】



【著名人による講演会】

◇映像教育(シネリテラシー)事業（中学校）

「ドキュメンタリー映像の作成をとおし、表現力の向上を図ること」、「コミュニティでの住民との交流をとおし、故郷の誇りを再発見すること」をねらいとして、日本映画大学の講師や学生のサポートを受け、地域の方々との交流の様子を映像作品としてまとめました。作品については、広蛸祭、ふるさと創造学サミットでの公開を予定しています。（ふるさと創造学の実践）



【校内リハーサル】



【仮設住宅での撮影】



【町内での撮影】



【映画大スタッフとの編集作業】



【映像作品上映会】



【映像作品上映会】

人への思いやりの心とふるさとへの愛着を育みます（徳）

◇人権教室・命の大切さを学ぶ授業（小学校・中学校）

夢や希望を抱き未来をたくましく生き抜く児童生徒を育てるためには、心に響く道徳教育の充実を図る必要があります。そこで、道徳の時間の充実をはじめ、地域の人材や外部講師の積極的活用をすすめています。人権擁護委員や福島県警の方々による授業から、児童生徒は、「一人一人がお互いを認め合い、自他を大切にする心」、そして、「命の大切さ」を学びました。（道徳教育の充実）



【人権教室】



【命の大切さを学ぶ授業】

生涯にわたり健康で安全に生活する力を育みます（体）

◇陸上教室（小学校）

小学5・6年生対象の元プロ陸上選手の秋本真吾さんによる教室では、専門であるハードル走のデモンストレーションの後、陸上競技の基礎の指導を受けました。速く走るポイントについて実技を交えて学ぶことをとおして、子ども達は、走る楽しさを体感することができました。

（体育・運動能力の向上）



【秋山選手のハードル走の指導】

◇部活動（中学校）

現在、広野中学校では、バドミントン部、剣道部、ソフトテニス部が、新たな伝統を築くために、互いに切磋琢磨し合いながら、チームワークと技術力の向上に努めています。また、陸上大会、駅伝大会に向けて、特設陸上部、特設駅伝部を組織し、練習に励んでいます。中体連総合大会では剣道部が、中体連陸上大会では特設陸上部が県大会出場を果たしました。（部活動の充実）



【バドミントン部】



【剣道部】



【ソフトテニス部】

◇薬物乱用防止教室（小学校・中学校）

小学校6年生、中学生を対象にした、相双保健福祉事務所による薬物乱用防止教室では、禁止薬物の健康に与える影響、違法売買の巧妙化、公共機関の危険ドラッグ拡大防止の取組等について学び、薬物乱用の恐ろしさについての認識を深めました。（健康教育の充実）



【薬物乱用防止教室】

◇小・中合同防災訓練・小・中合同防犯教室（小学校・中学校）

「災害発生を想定し、安全に避難できる能力や態度を養い、落ち着いて秩序ある集団行動をとることの必要性を理解させ、実践できるようにする」、「日常生活や学校生活での防災の大切さを理解する」、「原子力発電所事故や公共交通機関等が遮断された状況下で、児童生徒を安全、確実に保護者に引き渡すことができるようにする」をねらいとして、小中合同の避難訓練を実施しています。5月には、震度5強の地震が発生後、原子力発電所事故や公共交通機関等が遮断されたことを想定しての避難訓練と保護者への児童生徒の引き渡し訓練を実施しました。また、6月には、校舎内への不審者侵入を想定した防犯教室を実施し、不審者対応やネットランチャーの使用法について学びました。（防災教育の充実）



【引き渡し訓練】



【防犯教室】

特別支援教育

◇特別支援教育（保育所・幼稚園・小学校・中学校）

学校・園、福祉、保健の指導者、担当者を対象に、教育現場、保育現場で、困り感を抱えている児童生徒の行動や心理について、その特性を正しく理解し、共通認識を深めるとともに、支援体制の充実に向けて指導・支援のスキルアップを目指すことをねらいとした研修を実施しています。今年度は、福島県立医科大学の2名の先生方による講義と事例検討会を実施しました。（教職員の研修の充実）



【県立医大から講師を招聘しての研修会】